

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	78	学 校 名	浜松工業高等学校（定）	校 長 名	野崎 真司
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

定時制の課程では、県西部地方唯一の工業科を有する学校として、創造性や課題解決能力を育む「課題研究」と、旋盤・溶接・CAD・電気工事・電気回路等の幅広い工業の「実習」を通して、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む地域を支える工業技術者を育成する。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(1)地域社会の持続的な発展を担う技術者・技能者に必要な学び続ける力と確かな知識・技能を持った人材 (2)主体的に社会に関わろうとする意思を持ち、社会的・職業的に自立した人材 (3)他者と協働しながら、自ら考え、表現し、行動できる人材	(1)基礎的・基本的な学びから徐々に専門的な知識・技能の習得を目指すと共に活用するための教育活動 (2)生徒の多様な特性に対応した、丁寧かつ安心安全な学習環境による教育活動 (3)地域の産業界と連携し、自己有用感を高める教育活動	(1)地域産業の持続的な発展を担う技術者・技能者を目指し、学ぶ力と知識・技能の向上を目指す生徒 (2)専門的な知識・技能の習得の一環として、検定試験や資格取得等に積極的に取り組み、それを活用する意欲のある生徒 (3)学校や社会の規則を尊重し、他の生徒と協働して学校生活に取り組む意欲のある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基礎・基本を大切に工業技術の学びをとおして、創造力や問題解決能力を育成する。
- イ 自己有用感を高め、社会に貢献できる職業観・勤労観を育成する。
- ウ 産業界や外部機関と連携することも含め実践的技術・技能レベルの向上を目指す。
- エ 基本的生活習慣の確立を図り、社会で通用する人材を育成する。
- オ どの場面でも安全を意識した「いのちの教育」を実践する。
- カ 学校の活動をより外部機関や義務教育関係者等に知ってもらうため広報活動の一層の充実を図る。
- キ 教育活動が円滑に展開できるよう教育環境・職場環境の整備を図る。
- ク 静岡県教員育成指標に基づいた教職員の資質向上を図る。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	ものづくりの過程で創造力や問題解決能力を育成する。	基本的な技術の定着を図りながら、先取的な技術を学ぶ機会を設定する。課題解決型の授業を積極的に取り入れ、生徒自身でものごとを解決できる能力を高める。	「実験実習に興味を持って取り組むことができた」と回答する生徒の割合90%以上	工業科
イ	外部機関と連携した就労支援を在籍時より行い、社会	自己有用感を伴う工業系定時制生徒としてのメタ認知	「今年90日以上働くことができた」と回答する生徒	進路課 教務課

	での有用感を育て勤労の意欲と社会に貢献できる実感を持たせる。	の確立を支援し、商工会議所や企業との連携を通じて実際にものづくりの工程を学ぶ機会を設定する。	の割合 60%以上	各学年
ウ	生徒が資格等を意欲的に取得する体制づくりを構築する。	わかりやすい授業を実践することで授業の中で取得できる資格の合格率アップを目指す。難易度の高い資格の取得も喚起し、放課後の補習等で対応する。	計算技術検定の合格者 25人以上（延べ人数）。 情報技術検定の合格者 10人以上（延べ人数）	工業科 国語科
エ	あいさつの励行やほめる声かけにより生徒が自己肯定感を高めるとともに学校が安全安心な場所として認識することで愛校心を育む。	毎日の登校時に挨拶運動を行うとともに、日常的に生徒との緊密なコミュニケーションを図る。	「あいさつがしっかりできた」と回答する生徒の割合 90%以上	生徒課
		生徒を常に観察し、必要に応じて個別の支援体制を確立する。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用 専門的な立場からの指導を仰ぐ通級指導の実施	管理職 総務課 各学年
		集会や学校行事等生徒が集合する時間を活用し、校歌を歌う機会を増やす。	「大きな声で校歌を歌えた」と回答する生徒の割合 60%以上	総務課
		生徒に対する健康と環境衛生への高い意識を涵養する。	保健だより発行年間 10 回以上	総務課
		未然に事故が防げるよう K Y T の実施とヒヤリハットを共有する。	授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ	教務課 工業科 全職員
オ	自分の命は自分で守る意識の高揚と交通マナーの徹底を図る。	車両点検、車両実技指導、交通安全講話、防災訓練等の実施を通して安全教育を推進する。	交通安全に関する事業年 4 回、防災に関する事業年 3 回、薬学講座年 1 日の開催。重大な交通事故ゼロ。	総務課 生徒課 各学年
カ	学校ホームページ及び SNS を利用して効果的な広報活動を展開する。	学校ホームページや SNS の更新を定期的に行い、学校の魅力を発信する。	中学生の学校見学 30 人以上、SNS での情報発信年 50 回以上	パソコン 利用委員会 管理職
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境・職場環境の整備を行う。	働きやすい職場環境を目指した職務内容の精選と職務分担の見直しを行う。	夏季休暇 100%取得 時間外勤務前年度比 90%の実現 服務事故 0 件	管理職
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法の確立を図る。	I C T 機器の活用及び教員育成指標に基づいた研修の推進による授業改善 A I ドリルや通級指導をと おして個別最適な学習法を研究する	I C T 機器を活用して教育活動を展開する教職員 100% 学校に「信頼できる先生がいる」と回答する生徒 80%以上	パソコン 利用委員会 教務課